

## 平成 15 年度 旭川流域懇談会活動のまとめについて

### 1. 旭川流域懇談会の活動経過

平成 15 年度における旭川流域懇談会の活動経過を別表 - 1 及び別表 - 2 に示す。

- ・ 第 2 回旭川流域懇談会 ( 7/24 )
- ・ 川の通信簿 ( 8/31 )
- ・ 旭川流域の水防災に関する研究会 ( 10/28 )
- ・ 旭川上・中流域現地見学会 ( 11/14 ~ 15 )
- ・ 2003 旭川流域交流シンポジウム ( 11/15 )

別表 - 1 平成 15 年度 旭川流域懇談会の活動経過

年度	月	懇談会他関係組織の主な活動内容				旭川流域懇談会として得られる情報								
		旭川流域懇談会	岡山河川事務所	旭川流域連絡協議会	旭川流域ネットワーク	治水	利水	自然	河川利用	歴史・文化	地域交流	維持・管理	他事例	
H15	4		4/22 出水前河川点検											
	5													
	6													
	7	7/24 第 2 回旭川流域懇談会												
			7/24 ~ 8/25 水生生物調査											
	8	8/31 川の通信簿	8/31 川の通信簿											
	9													
	10													
		10/28 「旭川流域の水防災に関する研究会」		10/28 「旭川流域の水防災に関する研究会」										
	11	11/14 ~ 15 旭川上・中流域現地見学会												
				11/15 2003 旭川流域交流シンポジウム										
	12													
	1													
2	2/5 第 3 回旭川流域懇談会													
3														

凡例) は懇談会委員が直接得る情報、 は懇談会委員が間接的に得る情報

## 旭川流域懇談会の活動経過（平成15年度）

## 1. 旭川流域懇談会活動の結果

## 「川の通信簿」への参加

平成15年8月31日、岡山河川事務所は旭川の5箇所（平井子どもの水辺、後楽園、クラレ取水堰付近、中原橋付近、新大原橋付近の各水辺広場）において、市民と共同で河川空間の親しみやすさをアンケート調査により5段階で採点する「川の通信簿」を行い、約20名が参加した。旭川の総合評価としては3～4の採点結果であった。

なお、旭川懇談会委員は、主として自然、河川利用及び地域交流に関する情報を得る目的として参加した。

## 「旭川流域の水防災に関する研究会」への参加

平成15年10月28日、平成10年洪水（台風10号）から5年経過を節目に、旭川流域連絡協議会（国・県及び旭川流域自治体）の主催で当時の状況を振り返り、現状の課題を明らかにするとともに洪水災害や土砂災害を軽減する水防災のあり方についての研究会が久世町中央公民館で行われ、関係者約100名が出席した。

なお、旭川懇談会委員は、主として治水、地域交流及び維持・管理に関する情報を得る目的として参加し、「地域防災のあり方」をテーマにしたパネルディスカッションには、旭川流域懇談会委員の内田委員がコメントを努めた。

## 「旭川上・中流域の現地見学会」へ実施

平成15年11月14日～15日、旭川流域懇談会の主催により旭川における河川整備の現状と課題についての認識を深めることを目的として、旭川流域懇談会委員を対象に旭川上・中流域の現地見学会を行った。

見学会では、車中より上・中流域の河川の状況を見学するとともに、現地にて旭川ダムや湯原ダムの概要の他、高瀬舟発着場跡や塩釜の冷泉など、旭川の歴史や自然についての情報共有を行った。

## 「2003旭川流域交流シンポジウム」への参加

平成15年11月15日、旭川流域ネットワークの主催により旭川源流の碑加茂川（鳴滝）建立記念行事として「2003旭川流域交流シンポジウム&交流懇談会」が加茂川町農村環境改善センターで行われた。

なお、旭川懇談会委員は、主として地域交流に関する情報を得る目的で参加し、「魚がのぼりやすい川づくりと住民参加」と題したパネルディスカッションには、旭川流域懇談会委員の名合委員がコーディネーターを努めた。

## 2. 諸情報の共有について

## 旭川流域ネットワークの活動に関する情報提供

旭川流域ネットワークの活動に関する情報提供として、岡山河川事務所を通じて旭川流域懇談会委員へ「AR-NET NEWS」の配信を行った。

旭川流域懇談会の活動経過（平成15年度）

「旭川・百間川協議会だより」による情報提供

岡山河川事務所は、旭川及び百間川の改修に当たり、学識経験者、漁業関係者、地域住民、市民団体、行政関係者などにより協議会を設置し、課題についての共通認識を図るとともに、改修場所周辺の利活用や適切な整備・管理など様々な検討を行っており、協議会を中心とした諸情報を市民へ提供する目的で、「旭川・百間川協議会だより」を発刊しており、旭川流域懇談会委員へも提供する。

3. その他

旭川情報冊子の活用

岡山河川事務所は、市民への旭川に関する情報資料として旭川流域懇談会委員の意見を踏まえ、「旭川情報冊子」を作成した。また、ホームページでも情報公開を行った。